

(2026年7月13日発表)

公私立合同の静岡市幼児教育全体研修会の開催

全国的な少子化が進行する中、静岡市においても、保護者の就学前施設(幼稚園・認定こども園・保育所等)へのニーズは、誰でも園に入れる量の提供から、より高い幼児教育・保育を求める質の向上へと移行しています。このニーズに応えるべく、就学前施設において、公私立や施設類型の別にかかわらず、保育者(幼稚園教員、保育教諭、保育士等)の資質能力の向上に努めており、静岡市幼児教育センターでは、各種研修の実施、幼児教育アドバイザーの施設への派遣などにより、こうした取組を支援しています。

【趣旨・背景】

- ・幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎となる重要な時期です。この時期にこどもたちに関わる保育者は、教育・保育の質向上のため、常に学び続けることが必要ですが、日々の教育・保育に追われ、施設の枠を越えて実践事例を学んだり、国の最新の動きを共有する機会が限られている状況です。
- ・立場を越えた学び合いの場として、公私立就学前施設の保育者、学校関係者などが一堂に集い、現場の実践発表や、現在、国が進める各種要領・指針の改定に携わる講師を招いた講演などを行う大規模な研修会を、幼児教育センターが開催します。

【開催日時】 2026年7月18日(土曜日) 13時～16時

【会場】 静岡市東部勤労者福祉センター清水テルサ 1階 ホール(静岡市清水区島崎町223)

【対象・人数】 公私立就学前施設の保育者、学校関係者など 約300名

【主な開催内容】

第1部 ・幼児教育の取り組み 研修報告・発表(13時～15時)

(安東こども園・高松こども園・清水こども園・駿河待機児童園・やよい幼稚園)

・講話「つながりが育ちを支える

～こども・保育者・保護者・地域を結ぶ幼児教育のこれから～」

元東京都教職員研修センター 大竹節子(おおたけせつこ)氏

第2部 講演(15時～16時)

「次期学習指導要領・教育保育要領・指針改訂に見える幼児教育の方向性」

学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授

こども家庭庁こども家庭審議会会長

文部科学省中央教育審議会委員 ほか 秋田喜代美(あきたきよみ)氏

【掲載ホームページ URL】 <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s4936/s012266.html>

【取材について】

- ・事前申込・事前連絡ともに不要です。開催日時に直接会場へお越しください。
- ・報道機関用駐車場はありません。近隣の民間有料駐車場をご利用ください。

【問い合わせ先】

こども未来局 幼児教育・保育支援課(静岡庁舎新館17階) 担当者:岩田、石井 電話:054-221-1018